

専門分野

科目名	基礎看護学実習Ⅰ			担当者	澤田 律子		
履修学年	1年次 6月	単位数	1単位	時間数	45時間	実務経験の有無	有
科目目的	患者を取り巻く医療活動の場を知る。医療システムの概要を知る。入院患者に対する看護師が行う援助の見学や実際に入院患者に対してコミュニケーション・環境調整・を行うことで看護活動への理解を深める。また倫理を考えた行動をとることができ、看護者としての自己に求められる姿勢を知る。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間尊重の態度を基礎とした看護師—患者関係を築くための対人関係能力の基礎を身につけることができる。</li> <li>2. 看護師の援助から健康問題に対するニーズとはなにか考えながら看護師と共に行動できる。</li> <li>3. 看護師の援助から健康問題に対するニーズとはなにか看護活動とはなにか考える機会とする。</li> <li>4. 看護が行われている場を自分の目で確認して確認することができる。</li> <li>5. 倫理を考えた行動がとれ、看護者としての自己に求められる姿勢を述べることができる。</li> </ol>						
実習内容	学内実習 実習オリエンテーション 1日間 病棟実習 日立製作所日立総合病院・県北医療センター高萩協同病院 4日間 学内実習 1日間 *詳しい内容は、実習要項参照						

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
 澤田律子:8年間病院にて看護師として勤務

専門分野

科目名	基礎看護学実習Ⅱ			担当者	澤田 律子		
履修学年	1年次 2月	単位数	1単位	時間数	45時間	実務経験の有無	有
科目目的	対象の全体像を把握することができる。対象の健康状態から、看護の必要性を考えることができる。基礎看護学で学んだ理論・基本的技術・態度を看護活動の場で展開することができる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間関係の態度を基盤とした看護師—患者関係を築くための対人関係能力を身につけることができる。</li> <li>2. 対象の健康状態から看護の必要性を考えることができる。</li> <li>3. 対象の全体像を把握することができる。</li> <li>4. 看護チームの一員として自覚が芽生えてくることができる。</li> <li>5. 倫理を考えた行動がとれ、看護職の役割について、自分の言葉で述べるができる。看護専門職業人として自律的に行動できる。</li> </ol>						
実習内容	<p style="text-align: right;">* 詳しい内容は、実習要項参照</p> <p>病棟実習 日立製作所日立総合病院・県北医療センター高萩協同病院 6日間          学内実習 半日</p>						

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
 澤田律子：8年間病院にて看護師として勤務

専門分野

科目名	基礎看護学実習Ⅲ			担当者	澤田 律子		
履修学年	2年次 7月	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	看護理論を用いて実際に看護過程を展開することができる。対象に必要な看護を看護師と共に実践し、患者の反応や言動から援助を評価することができる。医療チームの一員としての役割を果たし、看護専門職業人として必要な態度をとることができる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間尊重の態度を基盤とした看護師—患者関係を築きながら関わるることができる。</li> <li>2. 対象に必要な看護を看護師と共に実践し、患者の反応や言動から援助を評価することができる。</li> <li>3. 看護理論を用いて実際に看護過程を展開することができる。</li> <li>4. 看護チームの一員として自覚をもち始めることができる。</li> <li>5. 看護専門職業人としての倫理観をもって、自分の役割と責任に基づいた行動をとることができる。</li> </ol>						
実習内容	<p style="text-align: right;">* 詳しい内容は、実習要項参照</p> <p>病棟実習 日立製作所日立総合病院・県北医療センター高萩協同病院 7日間          学内実習 4日間</p>						

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
 澤田律子：8年間病院にて看護師として勤務

専門分野

科目名	地域・在宅看護実習 I			担当者	横田 和		
履修学年	2年次	単位数	1単位	時間数	45時間	実務経験の有無	有
科目目的	保健・医療・福祉活動を捉え、地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、住みなれた地域でその人らしい生活が送れるように援助するための基礎的能力を身につける。						
到達目標	<p>1. 地域で生活する人々や暮らし、生活者と捉えることができるようになる。 地域性やそこで暮らす高齢者の生活課題を捉えられるようになる。</p> <p>2. 地域で生活する人々が健康な生活に向けて行っている支援を知り、健康な暮らしに向けての課題を考える機会とする。</p> <p>3. 地域で生活する人々が健康な生活に向け、その人にあった課題を達成できるような支援を考えていけるようになる。</p> <p>4. 社会資源の活用、関連機関・関連職種との連携や協働の実際を知ることができる。</p> <p>5. あらゆる人々の尊厳と権利を守り、看護専門職業人としての責任をもち、誠意ある行動をとることができる。</p>						
実習内容	包括支援センター 1日間 学内実習 2日間 市町村実習 4日間			* 詳しい内容は、実習要項参照			

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
横田和：5年間病院にて看護師として勤務

専門分野

科目名	老年看護学実習			担当者	古澤 美智子		
履修学年	2年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	地域や施設・病棟における高齢者との関りをとおして、老年期の特徴を理解し、高齢者の持てる力に着眼した看護を実践する能力を身につける。 保健・医療・福祉の連携を学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期にある対象者に合わせたコミュニケーションを図ることができる。</li> <li>2. 対象の意思・意欲を尊重し、安全・安楽に自立を考慮した援助を実践することができる。</li> <li>3. 対象の加齢や疾患、障害による日常の生活機能への影響を包括にアセスメントし、持てる力に着眼した看護を展開することができる。</li> <li>4. 高齢者を取り巻く保健医療福祉の役割と連携の必要性を考えることができる。</li> <li>5. 高齢者との関わりから老年観を養い、主体的に学習に取り組むことができる。</li> </ol>						
実習内容	介護老人保健施設 病院 特別養護老人ホーム 学内実習		4日間 4日間 1日間 1日間・半日	* 詳しい内容は、実習要項参照			

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
古澤美智子:16年間病院にて看護師として勤務

専門分野

科目名	成人・老年看護学実習 I			担当者	澤田 律子		
履修学年	2年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	成人・老年期にある個々の対象の健康レベルに応じた援助を実践するため、学習した知識・技術を用いて看護過程を展開する能力を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者を尊重した人間関係を結ぶことができる。</li> <li>2. 成人・老年期にある個々の対象の健康レベルに応じた看護を実践することができる。</li> <li>3. 成人・老年期にある個々の健康レベルに応じた看護過程を展開することができる。</li> <li>4. 保健医療福祉チームの一員として看護を実施する必要性がわかる。</li> <li>5. 看護専門職業人としての倫理観を持って、自分の役割と責任に基づいた行動をとることができる。</li> </ol>						
実習内容	<p style="text-align: right;">* 詳しい内容は、実習要項参照</p> <p>病棟実習 日立製作所日立総合病院・ひたち医療センター・北茨城市民病院 9日間 学内実習 2日間</p>						

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
澤田律子：8年間病院にて看護師として勤務

専門分野

科目名	小児看護学実習 I			担当者	小貫 三佳		
履修学年	2年次	単位数	1単位	時間数	45時間	実務経験の有無	有
科目目的	健康な子どもの成長発達過程を把握し、発達段階に応じた保育、教育に参加し、成長発達を促す関りができる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達段階に応じたコミュニケーションを図ることができる。</li> <li>2. 健康な子どもの成長発達について捉えることができる。</li> <li>発達段階に応じた基本的な生活習慣(食事・排泄・睡眠・更衣など)の獲得と自立に向けた関わりができる。</li> <li>3. 子どもにとっての遊びを実践でき、児の安全を守る事故防止と感染予防の援助ができる。</li> <li>4. 地域における子どもと家族への支援について考えることができる。</li> <li>5. 看護専門職としての視点で子どもの成長発達段階を考え、子どもの人権を尊重した関わりができる。</li> </ol>						
実習内容	幼稚園実習・保育園実習・認定子ども園 3日間 学内実習2日間 * 詳しい内容は、実習要項参照						

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
 小貫三佳:7年間病院にて看護師として勤務